

2026年5月29日

生活協同組合パルシステム東京様

ペシャワール会

2002年9月のご支援以来、長きに亘り当会のアフガニスタンにおける支援活動にご理解と多大なるご援助を賜りまして、ありがたく厚く御礼申し上げます。

貴組合をはじめ多くの方々のご支援により、中村医師の逝去後も現地 PMS（ピース・ジャパン・メディカル・サービス）の医療・灌漑・農業事業は、順調に続けております。

活動地であるアフガン東部では、干ばつが進行する中、2003年に着手した総合的農村復興計画「緑の大地計画」により耕作地が着実に回復し、現在では灌漑面積が23,800haに拡大し、これらの地で70万人以上の人々の生活が維持されています。

お寄せいただきました組合員の皆様からの平和カンパ1,994,126円はPMSの活動に有効に使わせていただきましたことをご報告しますとともに深く感謝申し上げます。

2025年度の現地プロジェクトは以下の通りです。

《2025年度プロジェクト報告》

1. 医療事業

2025年度も前年度に引き続き、アフガニスタン東部山岳地にあるPMSのダラエヌール診療所で、24時間対応できる診療体制を維持しています。1991年に開設されたこの診療所では、一般診療に加え母子健康保健向上のため女性職員による妊産婦の保健指導、ワクチン部門では乳児や児童を対象に予防接種を積極的に実施、結核対策も行なっています。地域に根ざした診療活動は、住民からの信頼を集めています。（年間診療数約52,400人）

2025年11月1日にはナンガラハル州ジャララバード市内に「中村哲記念ハンセン病センター」を開所しました。中村哲医師の事業の端緒となったハンセン病診療を再開し、研修を積みながら活動に励んでいます。

2. 灌漑事業

2025年度は以下の事業を手がけました。堰や用水路などの建設に関しては、日本側の技術支援チームと連携をとりながら慎重に事業を進めています。

〈ナー吉安郡モラヘイル用水路改修工事〉

2024年4月より行なってきたナー吉安郡での事業に引き続き取り組みました。スピンガル山脈を水源とする小河川と湧水からの取水工事を実施しています。モラヘイル用水路の上流にある3本の既存用水路を整備することで、同用水路に注ぎ込む水を、以前は水が届いていなかった下流域で有効利用できるようにしています。25年度は内2本の整備が完了しました。また、用水路末端の貯水池のみならず、ナー吉安地区では、近傍の谷で砂防堤も建設しており、干ばつ時の水供給を確保しています。砂防堤は山間部からの鉄砲水のリスク軽減にも寄与しています。（2026年9月完工予定）

3. 農業事業

マルワリード I 用水路最終地点のガンベリ沙漠の試験農場(約 230ha)で穀類や野菜、果樹を中心に様々な栽培と畜産を続けています。各用水路現場での植樹も含め植樹数は 130 万本を超え、大地を緑にし、荒々しい気候変動を少しでも和らげる役割も果たしています。

2022 年度より再挑戦してきたサツマイモ栽培は着実に進展しています。懸案であった越冬に成功し、立派に育ったサツマイモが収穫できており、蔓を近隣郡の住民に渡すなどして普及を試みているところです。干ばつ下での救荒作物として今後期待されます。

4. 地震被災地支援

2025 年 8 月 31 日深夜に活動地付近のナンガラハル州とクナール州でマグニチュード 6 の地震が起き、2,300 名以上の住民が亡くなる大惨事となりました。PMS は被災地を調査し、9 月から 10 月にかけて食料や毛布などの物資を 1,200 家族へ、災害用テントを 3,100 家族に配給しました。その後も被災地調査を継続し、厳冬期の 12 月には高地であるダラエヌール地区の子供たち 12,000 人に防寒着としてジャンパーを、2 月にはクナール州ワディールダラの最上流 2 村の仮設キャンプに居住する家族に毛布 1,200 枚と子供用ジャンパー 9,000 着を配布しました。

現在アフガニスタンでは、全土でかつてない規模の干ばつが深刻化しています。温暖化の影響による局地的豪雨や急速な雪解けにより、干ばつと洪水が繰り返し生じている状況の中で、中村哲医師(PMS)が長年にわたり確立した、年間を通して安定した水量を取水できる PMS 取水方式はより重要となってきています。

また、現在取り組んでいる山間部での中小河川や湧水からの取水、ため池による流域貯水は、より多くの地域が水を確保するため今後のカギとなるものです。

PMS の活動が地域の人々の助けとなるよう、2026 年度も引続き医療・灌漑用水路・農業事業を継続し、どこにも逃れようのない人々が安心して生活できるよう中村哲医師の意志と共に努力して参ります。

これからもペシャワール会は全力で現地を支えて参りますので、末永いご支援をよろしくお願い申し上げます。